

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第9号 平成26年5月4日

適時打無、与四球8は??????

2回の残塁と3回の守備が・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
M	0	0	1	2	2	0		5
G	0	2	0	0	2	0		4



5/4 (日) 春季区民2回戦を三ツ沢公園野球場にて、MADCRANEと戦った。昨年3位を手中にしているチームだけに、初戦から強豪との戦いとなった。先攻はMAD、マウンドには光希が上がりプレイボールとなった。先頭を4球で見逃三に斬る上々の発進、かと思ったら、次打者には四球を献上、更に自身の牽制悪送球で早くもピンチを迎えた。しかし、崩れる事なく後続2打者を凡打に斬り初回を0封発進とした。ゲームが動いたのは、2回の攻撃、この回先頭の暢造が初球を中越2を放ち出塁、続く深沢も中前に運び無死一・三塁とした。次打者は達脇、その彼の4球目に出されたサインはスクイズ、しかし、これを何と空振り、しかし、この球を捕手が捕球出来ず、が、三塁走者暢造はホームに、これを見た深沢も二塁へ、しかし、暢造はいち早く三塁に帰塁する。これを見た深沢も二塁手前でストップ、塁間に挟まれる行為で、三塁走者を援護、これを感じた暢造が今度はホームインし、1点を先制した。達脇は倒れ一死二塁となり、打席には泉が2球目を打った打球は遊撃前のゴロ、これを二塁走者深沢が援護するような走塁で遊撃手のFCを誘い一死一・三塁、次打者は凡打で倒れ二死一・三塁、打順が先頭に帰り一番哲也に四球を出したボールがWPになり、この間に深沢がホームインし2点目。更に二番智は死球で出塁し、二死満塁と依然チャンスは続く。そして打席に光希が入り、その3球目、体を回転させ、放った打球は、詰まった投ゴロ、これを相手投手の送球が光希の背中に当て、この間に2人が生還したかと思っただ、光希の走塁が3フットラインを走っていないと判断され守備妨害により、残念ながらこの回は2点止まり。そしてセオリーとおり翌攻撃にピンチを迎えた。この回先頭を四球で出塁させる。が、後続を投併打に斬り、ピンチを脱したかと思っただ、ここに落とし穴、急遽ファーストに入った野手がボールと喧嘩する守備を見せ、後逸し出塁、その後WPでこの走者は二塁に進塁、結果この打者にも四球を与え、二死一・二塁とする。そして、次打者の先頭に右前に運ばれ、一挙二塁走者がホームインし、1点を返される事となった。この回はこの1点で終わったが、翌4回にも、2四球に長短打で2点を失点、5回にも2四死球と失策に安打が加わり2点を失点し、その差を3点としてしまった。しかし、この裏の攻撃で2点を返したが、万事休す、残念ながら今期の区民大会は2回戦敗退という結果になった。振り返ると、3点。

1. 2回の攻撃時の残塁。 2. 3回の1点失点。 3. 与四死球8
 得点は可能な限り残塁としない、往々にして失策は失点に繋がる、与四死球8は2点献上と同じ。
 その他にも連携のにわか露呈したりしたが、結果は何かかなりそんな内容ただけに、非常に惜しい結果であった。
 やはり、チームのピンチをチームで援護出来なければ、勝利への道が無い、と感じたゲームである。